

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

児童デイサービス
どりーむ

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など、課題
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		活動を分けた場合に対応できる部屋がありません。
	②	職員の配置数は適切であるか		○		7月より定員数が増え、職員が1名増えたこともあり、十分な配置を取ることができています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			障害者用トイレの設置、スロープはありますが、手すりや段差があるところもあり、適切とはいえないです。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		毎日の朝礼・終礼で職員間で話し合いを行い、業務改善を図っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			実施したアンケートを確認し、業務改善に向けて取り組んでいます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			保護者への文書への報告は行っています。ホームページ等にも公開予定です。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による外部評価は受審していない。法人の評議員による福祉サービス評価を実施している。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事業団としての研修、事業所内の研修（毎月1回）、外部への研修等行われています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			チームで立てている部分もありますが、そうでない部分もあります。子ども達や職員から出た意見を大切にし、チームで検討しながら活動計画をたてていきたいです。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			固定したものもあれば、そうでないものもあります。固定化しているものを見直しを行い、活動内容の充実を目指します。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		平日・休日それぞれに課題を設定し、支援を行っていますが、長期休暇は利用人数が多い日もあり、設定通りにいかないこともあります。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者や家族に情報をいただきながら作成しています。	

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		始業時間の時点で子どもが登所しており、全員集まる事が難しい。その為、プリントを使って、1日の流れや役割を確認するようにしています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		必ず終礼の時間をつくり、実施するようにしています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			ケース記録を振り返り、月まとめを行い、各ケース担当で課題を見つけ、ケース担当発信で支援の検証・改善につなげています。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6ヶ月に1回はモニタリングを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			ガイドラインの内容を意識して取り組んでいます。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			事前に職員で話し合い、本人理解を深めて会議に出席しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校担当者と連携をとり、迎えの時間の変更など把握しています。また、子どもの安全確保の為にインフルエンザ等の感染症の情報を共有しています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			現在は、医療との連携はありません。連携が必要な場合は、事前に情報を頂きスムーズに連携が図れるようにしています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			保護者様のご了承を頂き、情報共有を図っています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			相談事業所より連絡があれば、事業所での様子を伝えています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			発達相談員の助言を受けて支援を行っています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	放課後クラブや児童館といった資源がありません。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			日高圏域の子ども部会や研修などに出席しています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時に口頭で子どもさんの様子をお伝えしたり、お家での様子をお聞きして情報共有をしています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	保護者からの相談に対しては、家族支援として個別に対応しているが、保護者への積極的なトレーニングの実施には至っていない。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時や変更の合った場合に説明をしています。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			ご相談があれば、電話や面談等で応じています。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者の交流の機会と考え、夏祭りや音楽会、茶話会を実施しています。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			事業所内に苦情箱や苦情相談窓口、第三者委員を設けています。苦情が発生した時には、職員間で発生原因と改善策を共有し迅速に対応しています。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			どりーむ通信や法人のブログで活動の様子をお伝えしています。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報にかかる同意書を提出して頂いています。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			本人にとってわかりやすい方法を提案しています。 (振り仮名をふるや絵カードを示す)
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			事業所独自の行事はないが、同敷地内のあかつき園の朝市やセンター祭等にたくさんの方が参加して下さっています。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルは事業所内に掲示しています。警報発令時や感染症時の対応については、各家庭に配布し周知徹底を図っています。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年間計画に基づき実施しています。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			職場研修や法人内の研修において虐待の認識を深めています。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在身体拘束を必要とする児童はいませんが、必要となった場合は、法人のマニュアルに沿って組織的に決定し、十分な説明のうえ、対応します。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			必要な方には、栄養士との面談や指示書の提出をお願いしています。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットを分析し怪我や事故につながらない様に対策をしています。会議等で報告することで職員に周知徹底させています。